

警察庁によると、2019年の交通事故発生件数は38万1237件で、前年比4万9364件減少しました。このうち死亡事故は3133件で、同316件、死者数は321

5人で同31

7人減りました。

状態別死

者数では歩行中が1176人と最も多く、自動車乗車中は1083人、自転車乗車中が433人の順でした。年齢層別では80～84歳が416人で最も多く、75～79歳と85歳以上

高齢者の交通事故防止

が388人、70～74歳が323人、65～69歳が267人でした。交通事故発生件数、死者数ともに年々減少していますが、高齢者の自転車乗車中の死者は前年より増えています。

高齢者が関わる割合も依然として減っていません

ん。死者の半数以上は高齢者です。

高齢者が悲惨な交通事故に遭わないために、社会全体で見守りを強化することが必要です。

交通安全三要素